

スポーツ振興について(2)

次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実について

1. 今年度の取組方針

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、長期にわたる学校の臨時休業やインターハイをはじめ各種大会の中止により、子どもの運動習慣や活躍の場が失われることとなり学校体育や部活動にとって厳しい年となった。

今年度もコロナ禍が続いており、体力低下が懸念される中、感染症対策をしっかりと行いつつ体力向上に向けた様々な取組を通じて、子どもが将来にわたって楽しみながらスポーツに親しめるよう、下記により各取組の充実に努めるものとする。

2. 主な取組

(1) 幼児期の運動遊び促進事業

幼児の運動能力等調査により実態を把握し、幼児期運動指針に基づいた運動遊びを推進する。また、指導者研修会の実施や実践事例集による運動遊びの促進を図る。

(2) 子どもの体力向上推進事業

子どもの運動やスポーツに対する愛好的態度を育て、興味関心を持って進んで取り組めるよう、授業の充実、教員の資質・指導力向上などに努める。

①教員の資質向上・指導力強化

授業協力者派遣、実技研修会、授業研究等

②オリンピック・パラリンピック教育の推進

アスリート招聘事業(スポーツ庁受託事業)の実施

③健やか元気アップ事業

体育の出前講座(小学校)、運動と保健を関連づけた運動教室(小学校)、保健体育科の授業モデル研究(中学校)、共通教材を用いた研修会(全校園種)を実施。

(3) 部活動指導員配置促進事業

部活動指導における教員の働き方改革を推進するとともに、専門的な指導による生徒の意欲や技能の向上を図るため、公立中学校・高等学校における部活動指導員の配置を進めている。(運動部 中学校:56名(予定)、高等学校:26名)

(4) 中体連・高体連活動振興事業

令和2年度は各種大会が中止となったが、今年度は感染症対策を徹底し観客を制限して開催するなど、生徒の日頃の練習の成果や活躍の場の確保に努めている。

(5) 全国中学校駅伝大会開催事業

平成28年度から令和2年度まで5年間、希望が丘文化公園において全国中学校駅伝大会を開催してきた。(例年12月に実施。令和2年度は中止)

令和3年度から令和5年度までの3年間についても、引き続き希望が丘文化公園において開催する計画となっている。今年度の大会は、開催する方向で準備を進めている。

3. 2025 国民スポーツ大会に向けた取組

○文化・スポーツ部(競技力向上対策課)のターゲットエイジに対する事業実施に協力し、中学校、高等学校の現場の声を聞き取って、連携の強化に努める。

○強化拠点校については、指定を受けた部活動の顧問と競技団体との連携を密にし、学校として活動支援に努める。